Corporate Data

会社概要 (2018年8月31日現在)

商 号 株式会社竹内製作所

(英文社名) TAKEUCHI MFG. CO., LTD.

本 社 〒389-0605

長野県埴科郡坂城町上平205番地

代表 者代表取締役社長 竹内 明雄

設立年月日 1963年8月21日

資 本 金 3,632百万円

事業内容 建設機械の開発、製造及び販売

従業員数 751名 (連結)

●役員の状況

代表取締役社	長	竹内	明雄
取締役副社長	Į.	竹内	敏也
取締役		渡辺	孝彦
社外取締役	(常勤監査等委員)	草間	稔
社外取締役	(監査等委員)	小林	明彦
社外取締役	(監査等委員)	岩渕	道男

主要な工場及び営業所

工場 本社工場 長野県埴科郡 戸倉工場 長野県千曲市

営業所 東京営業所 東京都港区

●ネットワーク

日本 株式会社 竹内製作所

米国(販売子会社) TAKEUCHI MFG.(U.S.), LTD.

英国(販売子会社) TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.

(フランス (販売子会社) TAKEUCHI FRANCE S.A.S.

中国(製造・販売子会社) 竹内工程機械(青島)有限公司

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター(当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店)を通じて販売を行っております。

Stock Information

株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数138,000,000株発行済株式の総数48,999,000株単元株式数100株株主数7,903名大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,768	12.08
竹内 敏也	3,895	8.15
公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会	2,702	5.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,410	5.04
東京中小企業投資育成株式会社	1,803	3.77
株式会社テイク	1,800	3.77
竹内 好敏	1,500	3.14
株式会社八十二銀行	1,440	3.01
竹内 民子	1,440	3.01
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,302	2.72

※持株比率は自己株式 (1,253,858株) を控除して計算しております。

株主メモ

	18.4±2		
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで		
定時株主総会	毎年5月		
基準日	毎年2月末日		
	その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。		
配当金受領株主確定日	毎年2月末日(中間配当を実施するときは8月31日)		
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。		
	http://www.takeuchi-mfg.co.jp/		
	ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告がで		
	きないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。		
株主名簿管理人及び	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別□座の□座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)		
(同郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号		

ご注意)

- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、 口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。





株式会社 竹内製作所

2018年3月1日から2018年8月31日まで

企業理念

世界初から世界のTakeUCHIへ

- ・私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、 TakeUCHIのものづくりを追求します。
- ・グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ・一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会<mark>の実現に貢献します</mark>。

創造

Creation

豊かな感性をもって、 ニーズに応えた 商品開発をする。

協調

社 是

Cooperation

和と思いやりの心を もって、調和の取れた 社会との共生を図る。

挑戦

Challenge

夢と若さをもって、 より高い目標に向かって 果敢に行動する。

経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

To Our Shareholders 株主の皆様へ



お客様のニーズを捉え 積極的な販売活動を展開してまいります。

Takeuchi

株主の皆様に第57期の中間報告書をお届けするに当たりまして、平素より賜っておりますご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2018年3月1日から2018年8月31日まで)におきまして、当社の主要マーケットの一つである米国市場では、保護主義の色彩を強める通商政策の影響が懸念されるものの、足元では良好な雇用情勢、消費マインドを背景に個人消費は堅調に推移し、企業の設備投資も増勢が継続しました。一方の当社主要マーケットである欧州でも、良好な雇用改善が追い風となって個人消費が復調し、設備投資も建設分野で増加するなど、景気は堅調さを維持しました。英国では、個人消費は持ち直したものの、EU離脱交渉が最大の山場を迎え、設備投資は軟化しており、先行きに対する不透明感が晴れない状況がしばらく続くと予想されます。

このような環境の中、当社グループの製品需要は、米国

および欧州ともに高い水準を維持しています。積極的な販売活動が奏功し、ミニショベル、油圧ショベルおよびクローラーローダーの当第2四半期連結累計期間の販売台数は、前年同期に比べいずれも増加しました。また、新製品として2018年1月に市場投入したクローラーローダーならびに同年3月投入のミニショベルも、現場のニーズを的確に捉えてお客様から高い評価をいただき、当期の業績に寄与しています。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比で増収増益となりました。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご鞭撻 を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

代表取締役社長 竹内 明雄

連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlight

売上高

上期実績

598 前上期 523億円 前用則比 14.3%增 1,060 億円 前期比 12.4%增

営業利益

経常利益 上期実績

地域別売上高

283 前上期258億円 474 前期比9.4%增 474 億円 4.7%増

292 前上期 235億円 **545** 前期比 24.1%增 **545** 億円 25.5%増

親会社株主に帰属する当期純利益

上期実績



通期予想



1株当たり配当金

Point 1 通期連結業績予想について売上、利益ともに上方修正

欧州での販売が上期において好調に推移し、下期も引き続き前回予想を上回る見通しとなったこと、および前提為替レー トを前回予想より円安に設定したこと等により、2018年4月に公表した2019年2月期の通期予想を上方修正しました。 親会社株主に帰属する当期純利益については、前期比5.7%減益予想から、5.8%の増益予想となりました。

Point 2 配当についてもさらなる増配を予想

2019年2月期の業績見通しを勘案した結果、期末の配当予想を前回予想の40円から5円増配し、1株当たり45円に修正 しました。前期実績からは9円の増配となります。

Consolidated Financial Data 連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

		(羊位・ログリリ)
区分	前 期 2018年2月28日現在	当第2四半期 2018年8月31日現在
資産の部]		
動資産	80,614	91,941
定資産	11,185	11,498
産合計	91,799	103,440
負債の部]		
動負債	22,540	29,716
定負債	1,152	1,013
債合計	23,692	30,730
吨資産の部]		
主資本	66,921	72,141
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	61,633	66,842
自己株式	△1,976	△1,965
の他の包括利益累計額	1,185	568
その他有価証券評価差額金	22	7
為替換算調整勘定	1,053	476
退職給付に係る調整累計額	109	84
資産合計	68,106	72,710
債純資産合計	91,799	103,440

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前第2四半期累計 自 2017年3月1日 至 2017年8月31日	当第2四半期累計 自 2018年3月1日 至 2018年8月31日
売上高	52,336	59,832
売上原価	40,263	46,206
売上総利益	12,073	13,626
販売費及び一般管理費	3,803	4,438
営業利益	8,269	9,187
営業外収益	146	170
営業外費用	53	19
経常利益	8,361	9,338
特別利益	_	198
税金等調整前四半期純利益	8,361	9,536
法人税、住民税及び事業税	2,075	2,400
法人税等調整額	497	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,788	6,927

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円) 前第2四半期累計 当第2四半期累計

区分	自 2017年3月1日 至 2017年8月31日	自 2018年3月1日 至 2018年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,017	4,224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△660	△832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	△1,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△940	△220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,169	1,460
現金及び現金同等物の期首残高	23,633	30,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,802	31,872

トピックス お客様の声

狭いスペースでも小回りよく パワフルな作業が可能なTL6R。 ニーズの隙間をしっかりと 埋めてくれています。





M&R EQUIPMENT社、共同代表、Will Crumley様 M&R EQUIPMENT社は、アメリカジョージア州の北東部で営業する地場のレンタル会社です。



■主な用途、お客様の評価

最も一般的な用途は資材運搬、廃材撤去、岩石の移動な どで、当社では建設業のほかに、造園業やコンクリート舗 装業のお客様にもTL6Rをレンタルいただいています。大 きな製品では作業しにくい狭いスペースでも、容易に作業 できるコンパクトさが大きなメリットになっているとの評 価をはじめ、TL6Rには総じてご満足いただいており、ポ ジティブなご意見が多く寄せられています。

▋導入効果

TL6R

TL6Rは、タケウチ製品の中で最軽量のクローラーロー ダーであり、当社のレンタルラインナップの強化と収益力 の向上につながりました。例えば、ただパレットに積んだ 芝生を移動させたいだけというときに、大きいサイズの機

械は必ずしも必要ないのです。私が思うに、こうしたニー ズの隙間をしっかりと埋めてくれるのがTL6Rなのです。

当社のお客様が製品を使われる場面を考えると、TL6R は、サイズ・性能面で、まさに当社ビジネスにぴったり合 う製品です。

■タケウチ製品を選ぶ理由

他社製品と比べたときのタケウチの特長は、とにかくタ フ (頑丈) な製品だということです。加えて、製品の主要 部品の多くは、メンテナンス作業がしやすいように配置が 工夫されているのです。私は、TL6Rを一目見ただけで、 メンテナンスがしやすい製品であると分かりました。タケ ウチは、とても良い製品を作っていると断言できます。

販売開始:2018年1月

長:タケウチの製品ラインナップで最軽量となるクローラーローダー。 土砂の採掘・運搬、地面の整地といった作業を小回りよく効率的

にこなすことが可能。

パワフルで安定性があり、 バンで運搬可能なTB225。 タケウチには、 探し求めていた製品があります。



バンでけん引できるTB225

顧客情報

PBG社、オーナー、Paul van den Boomen様 PBG社は、オランダ北ブラバント州ソメレンで建設業を営む会社です。



■主な用途、お客様の評価

当社は、住宅建築、インフラ工事、造園での作業時にタ ケウチの製品を使っています。

今回購入したTB225 (2.3トン) は、TB210R (1.2トン) と TB235 (3.5トン) に続き、当社では3台目となるタケウチ製 品です。アーム先端のバケット部を他のアタッチメントに交換 することで、様々な作業を行え、なくてはならない存在です。

■導入効果

作業現場まで運搬するのにトラックが必要な3.5トンの TB235に対し、TB225は普通自動車免許で運転可能なバ ンでけん引できるコンパクトな製品です。加えてパワフル で安定性があり、まさにこのTB225は、当社が探し求め ていた製品そのものでした。

■タケウチ製品を選ぶ理由

当社では、過去に他社製品を使っていた時期もありまし たが、操作性に優れている点と製品の品質が決め手となり、 全てタケウチ製品に乗り換えました。タケウチは、ミニショ ベルの開発・製造に力を入れている会社で、顧客の声を聞

き入れ、それを形 にしてくれていま す。これからもタ ケウチがTB225の ような革新的な製 品を作り出してく れると期待してい ます。



トラックで運搬する3.5トンのTB235



販売開始:2018年3月

特 長:「欧州の普通自動車免許で公道を運搬可能なコンパクトで使いや すいミニショベル」をコンセプトに開発されたミニショベル。